

いのちを守る福祉・防災都市東京へ! 都政に憲法を!

都民がつくる革新都政

2013年3月15日 発行=革新都政をつくる会 発行人・中山 伸

都民のくらし、いのちを守る2013年度東京都予算を!

大規模開発・都民犠牲の 石原都政の継承を許すな!



都議会開会日都庁前行動で要求実現求める



東日本大震災2年 いまも31万人避難 『原発ゼロ』政府に迫る

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から2年。日比谷公園、国会前霞ヶ関一帯が「原発ゼロ」訴える人であふれる

都民の心のデフレを取り払うのはオリンピックではなく、くらしを大切にす

「子育ての不安を解消する」猪瀬都知事は施政方針で「将来を切り拓いていく若者」を、東京から育てます

信州の夕暮れ、窓辺で雪が踊る。あまりにも自由で恐れを知らない。10年余も前、その雪を見た平塚

第一回定例都議会が開会し、猪瀬直樹知事は就任後初の施政方針表明を行いました。

予定を大幅に超過する1時間17分の長時間の演説でしたが、都民のくらし、いのちの叫び、広がる貧困問題には言及しませんでした。

日本全体に改革のうねりを巻き起こす」と述べると、都の都市機能の強化を図るとして外環道推進など

都議会横の中央道路では、伊藤潤一東京地評議員、荻原淳東京自治労連委員長、今井晃東京民医連事務局長、井手口行夫東京地評事務局長、工藤弘都教組委員長、大島よしえ都議会

相川和義 (東京社会保険推進協議会・事務局長)

岡田尚子 (新婦人本部・組織部長)

岩崎明日香 (民主青年同盟東京都委員会・委員長)



厳しい都民生活を支援する提案はなし

保育園は待機も保育事故も増加

若者の貧困や雇用破壊の問題に何の言及もない

都民のくらし、いのちを守る

猪瀬知事、初の施政方針表明

猪瀬直樹都知事になってはじめての予算案を審議する第一回定例都議会が2月20日開会しました。(会期は3月18日まで)

都政に転換を

都議会開会日行動を展開

都知事選後、はじめての都議会開会日は、早朝からくらし、医療・福祉、雇用、都民要求実現、福祉・教育

第一庁舎北側・中央通りの労働実態、公契約条例制定運動、オリンピック招致問題、築地市場の豊洲への移転問題、教科書問題など

青い空

信州の夕暮れ、窓辺で雪が踊る。あまりにも自由で恐れを知らない。10年余も前、その雪を見た平塚

首都直下地震

あらたな東京都地域防災計画を考える③

企業論理優先の
帰宅困難者対策

二年前の東日本大震災では、東京で350万人を超える帰宅困難者が発生しま



した。首都直下地震被害想定ではその数は、5百万人以上にふくれあがります。以上は、500万人を超過する東日本大震災では、解決が迫られている大都市固有の課題です。

この問題での国や東京都の対策は、「首都圏のほとんどの交通が運行停止となり、当分の間復旧の見通しが立たない」(一斉帰宅の基本方針)という交通の途絶が前提にされてお

問を感じる人も少なくありません。この対策の教訓とされる東日本大震災後、都営地下鉄や東京メトロ、私鉄各線などが、いち早く安全確認をおこない、路線によっては数時間後に、運行を再開したのに対して、

最大の輸送機関であるJRは、早々に駅のシャッターを降ろし運行を停止し、帰宅困難に拍車をかけたので

憲法25条に抵触するような都民出さない 『東京都民でよかった』と 思える都政を



松崎 由美子

(豊島生活と健康を守る会)

12月の選挙で今度こそ都民本意の都政に転換できるのかと大いに期待しました

驚いたことに受け付けの時点で「面会予約がないの

度表明していただいたのは、民主党の議員だけでした。

「生活保護基準切り下げに反対の立場を」と要請を行いました。

先日、全生連(全国生活と健康を守る会連合会)で

都議会でこのようなか

被害想定が、最悪の事態を想定したものとしていない

異議あり！東京オリンピック招致

防災・開催時期も不適切

東京五輪招致活動の問題点を明らかにする「異議あり2020オリンピックピック

ある」と掲げた五輪憲章に逆行する。東京都に五輪を招致計画は、防災・開催時期も不適切なものであることが明らかにされました。



「異議あり！東京オリンピック招致」集会＝3月11日

三宅島に絵手紙&ちぎり絵小組つくるツアー

体験会大盛況

小組発足！入会4人男性2人も読者に



絵手紙体験中＝2月24日・三宅島

会員の「絵手紙をやってみよう」との声から三宅島

ら総勢13人が参加。この取

り組んで、三宅島の新鮮な品に感激。どれも素晴らしいと、素敵な作品に！